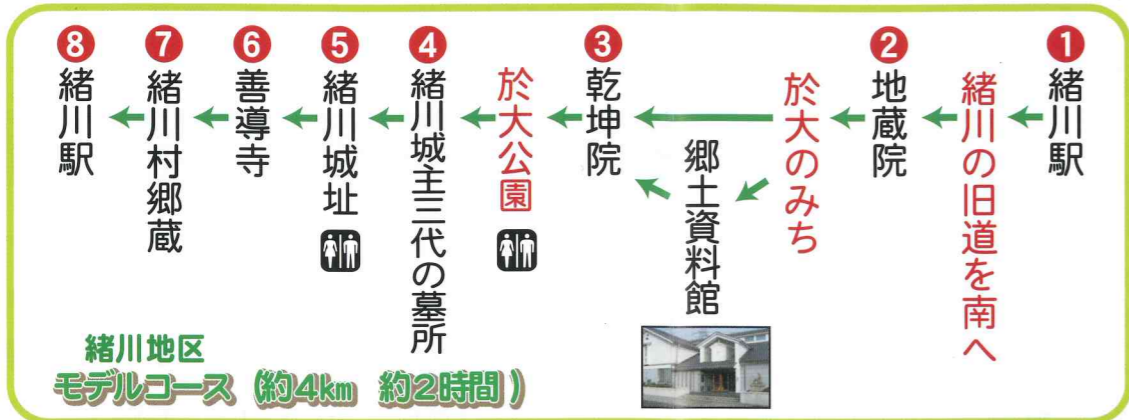




徳川家康の母

於大の方と水野氏

～ゆかりの地を訪ねる～

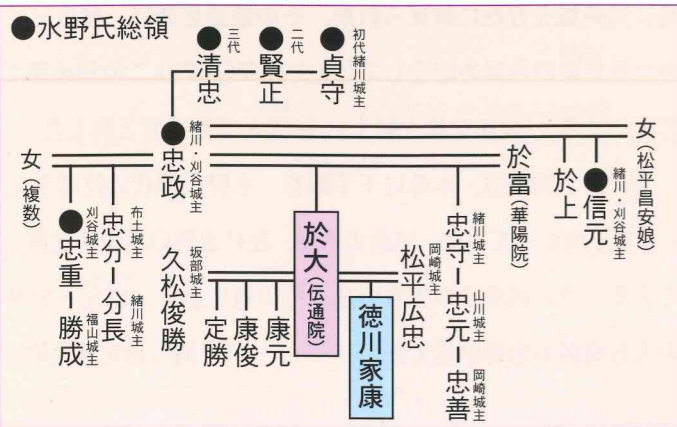


● 乾坤院 山門



● 緒川城主三代の墓所
中央が初代貞守、左が二代賢正、右が三代清忠

◆ 水野氏関係系図 ◆



緒川村郷蔵
尾張藩の頃、毎年百姓から取り立てた年貢米を、船で名古屋へ積み出すまでこの倉庫に保管した。昔は今の国道辺りまで船が入った。現在、緒川公民館及び児童館の建物がある一帯の広場は、緒川村の豪農で酒造家塚本源左衛門の屋敷地であった。その後、明治12年から昭和17年まで(64年間)緒川小学校用地であった。

善導寺
みち道しるべ弘法
右横須賀道、左大野道。大正12年3月に道路改修記念として建立された。

東浦村道路元標
道路の路線の起点や終点や経過地を表示するための標識のことで、大正9年設置。公報記載位置知多郡東浦村大字緒川字屋敷二区百三十二番地先設置場所は、市町村役場の前、交通の要衝、町の中心に設置された。

道しるべ弘法
みち道しるべ弘法
右かりや道、左大野道。大正時代に移転し、左右に弘法と観音像も併せて祀っている。元の位置不明。

地蔵院
地蔵院 (沢瀉の井戸・イブキ)
沢瀉の井戸
第三代緒川城主水野清忠の奥方が井宝を授かるよう、かき殻地蔵に祈願し、満願の日この井戸の水を汲もうとすると、沢瀉の葉が浮かび、その上に永楽銭が1つ乗っていた。その後、子宝に恵まれ、沢瀉と永楽銭を水野氏の家紋としたという。
イブキ
樹齢約300年の古木(東浦町指定文化財)

八郎兵衛の常夜燈
八郎兵衛の常夜燈(総高500cm)
緒川の南、村はずれに明治28年5月建立された。日清戦争直後で、国威が高揚した時期であった。

於大のみちの石彫
於大のみちの石彫(生立ち広場)
左から『水野忠政』、『於上』、『信元』、『於大を抱く於富』、『侍女』。

坊主橋
坊主橋
乾坤院の住職は、四代以後、末寺の住職が2年輪番で勤めることになった。この橋を渡って入山式に臨んだ。この故に、この橋を人々は坊主橋と呼んだ。

郷土資料館(うのはな館)
郷土資料館(うのはな館)
毎年4月、於大まつりが行われる

於大公園
於大公園と名付けたのは、徳川家康の生母である於大の方、東浦町の緒川城主水野忠政の娘として生まれ、その水野家の菩提寺である乾坤院に隣接することから於大公園とした。公園全体面積 12.1ha。

宇宙山乾坤院
宇宙山乾坤院
堅雄堂
水野家四代の墓所
山門

緒川城主三代の墓所
緒川城主三代の墓所

於大公園西
於大公園西

於大のみち
於大のみち
生立ち広場から乾坤院までの明徳寺川の両岸に約2kmの歴史散歩路。於大の出生地をテーマに、於大の生涯と水野氏の歴史を刻み「於大のみち」となづける。

中央公民館(文化センター)
中央公民館(文化センター)